

証拠金規制と SIMM

2015年7月29日（水）

OTC クオンツスクール

キーワード：当初証拠金、変動証拠金、証拠金規制、SIMM、FRTB、Sensitivity Based Approach (SBA)、CCP で清算されない取引、ヘアーカット、適格担保、当初証拠金を考慮したデリバティブ・プライシング

BCBS/IOSCO のマージン規制最終案によると、来年の9月から順次、CCP で清算していないデリバティブ取引に変動証拠金と当初証拠金が義務付けられる予定です。この証拠金規制はデリバティブ・マーケットの慣行を大きく変える一大イベントです。

当初証拠金はお互いに出し合うことになるのですが、各金融機関が独自に開発した当初証拠金モデルで計算して相手にチャージしていたのでは、ディスピュートが必ず起こります。そこで、ISDA が当初証拠金の標準モデル（SIMM）をつくることになり、ようやくそのドラフトが公表されました。SIMM の手法は、基本的に将来に導入されるトレーディングブックに係るマーケットリスク規制資本（FRTB）の標準化手法である感応度ベース方式（SBA）を基にしたものとなっています。もちろん、FRTB の SBA は資本計算に用いられるものであり、SIMM は当初証拠金計算ですが、考え方は同じです。

今回の1日セミナーでは、CCP で清算されない取引の証拠金規制の内容、SIMM モデルの全貌、予想される SIMM モデルの実装、現状のドラフトの問題点に関して講義をします。

セミナー対象者

- ・ 金融機関におけるクオンツ、トレーダー
- ・ 金融機関のデリバティブ、ALM、リスク管理等の関係部署の方
- ・ 監査法人でデリバティブ業務等の監査に携わる方、金融商品の評価業務に携わる方
- ・ デリバティブ、金融リスク関係のシステム構築に携わる方
- ・ 金融機関の規制担当者、及びレギュレーター

講義日程

日付：2015年7月29日（水）

時間：18:00 – 21:00

会場：JAビル カンファレンス 401B

定員：25名（申し込み人数が定員になった時点で締め切らせていただきます）

担当講師

高田勝己（株式会社 Diva Analytics 代表取締役）

平成元年、一橋大学経済学部卒業。日本債券信用銀行 資金証券部 調査役、さくら銀行 商品開発部 上席調査役、コメルツ証券会社 債券部トレーディングデスク ディレクター、ベアースターズ・ジャパン 債券部 マネジングディレクター、RBC(Royal Bank of Canada)キャピタルマーケット・ジャパン ディレクターを経て、現在、株式会社 Diva Investments にて金融デリバティブモデルにかかるコンサルティングに従事するかたわら東京大学大学院経済学研究科で非常勤講師を勤める。

シカゴ大学 MBA Analytic Finance 専攻。東京大学大学院 数理科学 後期博士課程修了。

受講料

40,000円（税込）

学生割引：フルタイムの学生は50%の受講料で受講できます。ただし、申込みの優先順位は後回しになります。

お申込み

OTC クオオンツスクールのホームページ <http://www.divainvest.jp> から申し込んでください。

講義内容

- | | |
|-----------------------|---------------|
| ① 相対デリバティブの証拠金規制 | ④ 感応度計算 |
| ② FRTB の感応度ベース方式（SBA） | ⑤ 担保のヘアーカット計算 |
| ③ SIMM の当初証拠金の算出ロジック | ⑥ SIMM の問題点 |

（注） 講義内容は見直し等により変更になる場合があります。